

シミュレーション教育における麻酔科医の役割

国保日高総合病院 麻酔科

羽場 政法

これまで医療業界では病気のメカニズムを解明し治療法を確立することに多大なる時間と努力が注ぎ込まれてきた。しかし、治療を提供する際の安全性、効果、効率については十分検討されてこなかった。患者の予後改善には効果的な治療法をどのように提供するかを我々が学ぶ必要がある。シミュレーション教育はこの一つの答えとなることが証明されている。

シミュレーション教育の中でもチームワークを必要とする医療シミュレーションは麻酔科医が中心として成熟した分野である。それには以下の条件が重なったからと思われる。

- 1, 日常業務が、多種職、多人数で行うチーム医療である
- 2, 頻度がまれで、起こった場合致命的となる病態が存在する
- 3, 自ら行った麻酔という医療行為により重篤な病態を引き起こされる

2017年以降、シミュレーション教育は、医学教育から臨床現場まで学び続ける必要のあるものとなる。常日頃この環境にさらされている我々麻酔科医はシミュレーション教育を通して病院全体のチーム医療を推進することができる。必要なのは、

- a, 自分がシミュレーション教育に適した人材であることを知る
- b, シミュレーションとシミュレーション教育は異なるものであることを知る。
- c, シミュレーション教育を知ることのできる場所と教育のためのツールを知る。
- d, 一人で行うのではなく仲間を増やす。

我々麻酔科医は、シミュレーション教育を日常に取り入れ、安全で安心な医療を患者に提供する必要がある。